

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年3月23日～2019年3月29日の推移】

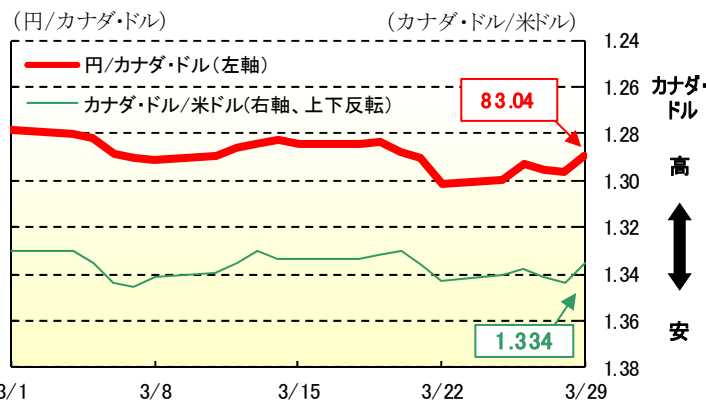
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円および対米ドルで上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

世界景気への過度な減速懸念が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことやカナダのGDP(国内総生産)が予想よりも良好な結果となったことを背景に、カナダ・ドル、カナダ金利は上昇しました。原油価格が上昇したことも相場を後押ししました。

GDPに関しては、鉱工業セクターに牽引され、良好な結果となりました。貿易収支も発表になっており、航空機の輸入が前月から大幅に増えたことを背景に、月次で過去2番目に大きい貿易赤字となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年3月1日～2019年3月29日)



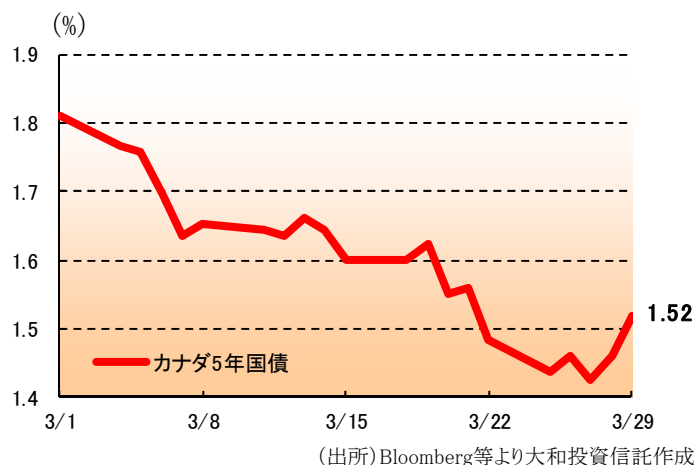
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは雇用統計の発表が予定されており、雇用者数は、前回よりも小幅な伸びが予想されています。米国でも雇用統計の発表が予定されており、良好な結果になれば、米国金利の上昇に連れて、カナダの金利、通貨の上昇圧力につながるものが予想されます。

足元では、中国、米国の製造業指数が良好な結果になったことから世界景気への過度な減速懸念が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まっています。そのため、株価は堅調に推移しており、原油価格に関しても、OPEC(石油輸出機構)の原油生産の縮小などを背景に堅調に推移していることから、カナダの通貨、金利を下支えすることが見込まれます。

【カナダ 金利推移】 (2019年3月1日～2019年3月29日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>